

顕彰会の設立にあたり

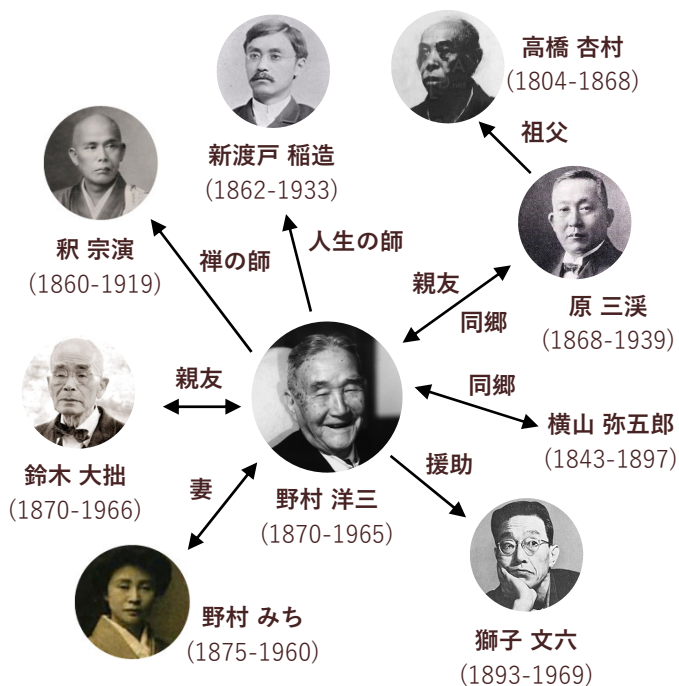
大野町が生んだ郷土の偉人、野村洋三（幼名梅太郎）の偉業とひととなりを顕彰し、また、横浜との交流を通して、経済や産業の活性化を生むような地方創生に寄与できたらとの願いを持って、この会を発足しました。

洋三は「ミスターシェイクハンド」と呼ばれ、産業界に名を残しただけでなく、震災復興や戦後の国づくりに活躍し、日本と米国をつなぐ太平洋の架け橋となりました。

大野町に生まれながら、なぜ海外に強い憧れを持ったのでしょうか？誰と出会い、何を考え、どのような影響を受けたのか、洋三を知り、洋三に学ぶことで、まちづくり、人づくり、そして、未来を担う子どもたちの心を育てる一助となれば幸いです。

会長 橋本 章

野村洋三を取り巻く人物相関図



洋三を知り、洋三に学んでみませんか

入会のご案内

原三溪・野村洋三に関心のある方なら誰でも入会でき、入会の時期はいつでもかまいません。

＝会費＝

個人会員：年額1,000円

法人会員：年額10,000円

当会のホームページからお申込みいただくか、「入会申込書」に必要事項をご記入の上、下記住所に郵送またはFAXでお送りください。

お問い合わせ | 野村洋三顕彰会事務局

〒501-0513

岐阜県揖斐郡大野町大野742-111（橋本家）

TEL/FAX. 0585-34-2970

ホームページ：<https://nomurayozo.com/>

野村洋三 顕彰会

太平洋の架け橋
野村洋三に学ぶ





1870年生まれ。14歳の時、英語の専修学校と同志社学校（現在の同志社大学）へ入学する。その後、東京専門学校（早稲田大学の前身）に進学。卒業後は通訳として活躍しながら、古美術店「サムライ商会」の立ち上げやホテルニューグランド（横浜）の建設に携わった。その後、同ホテルの会長を務め、横浜商工会議所の会長としても活躍。晩年は、日米協会を立ち上げて、太平洋の架け橋として働いた。同協会や横浜ロータリークラブを立ち上げた文化的な業績が評価され、神奈川県や横浜市から文化賞を授与される。95歳没。



神奈川県知事、横浜市長とともに吉田茂首相を迎えて。

亡くなる2年前。ベレー帽とステッキの散歩姿やホテルで客に握手をして挨拶する姿は「ミスターシェイクハンド」として横浜名物であった。



野村洋三の生涯

- 明治 3年 岐阜県揖斐郡鶯村公郷（大野町）で出生 幼名「梅太郎」
- 明治17年 14歳で京都へ出奔、洋三と名乗る
- 明治18年 東京専門学校入学
- 明治24年 コロンブス世界博覧会の通訳として渡米 新渡戸稲造と知己となる
- 明治26年 世界宗教大会に円覚寺の釈宗演の通訳で渡米
- 明治28年 古美術店「サムライ商会」を横浜に開店
- 明治31年 箱根の旅館「紀伊国屋」長女ミチと結婚
- 明治32年 原富太郎と知り合い、三溪園造りに協力
- 明治42年 この頃、鈴木大拙と親しくなる
- 大正5年 横山大観の依頼で印度の詩人タゴールと会う
- 大正12年 関東大震災でサムライ商会が火災で焼失
- 昭和13年 ホテルニューグランド会長職に就く
- 昭和14年 師友の人、原富太郎（原三溪）死去
- 昭和20年 終戦と同時にホテルが進駐軍の司令部に接収 マッカーサーに食糧事情の困窮を訴え、市民への食糧放出をお願いし、実現



古美術店「サムライ商会」を横浜に開店
箱根の旅館「紀伊国屋」長女ミチと結婚
原富太郎と知り合い、三溪園造りに協力
この頃、鈴木大拙と親しくなる
横山大観の依頼で印度の詩人タゴールと会う
関東大震災でサムライ商会が火災で焼失
ホテルニューグランド会長職に就く
師友の人、原富太郎（原三溪）死去
終戦と同時にホテルが進駐軍の司令部に接収
マッカーサーに食糧事情の困窮を訴え、市民への食糧放出をお願いし、実現



- 昭和21年 神奈川県商工会議所会頭となる
- 昭和27年 横浜日米協会会長に就任
- 昭和40年 95歳にて永眠

野村洋三顕彰会の活動

定例会議

毎週第1水曜日の午後7時から、大野町3区集会所に集まって、定例会議を行っています。

講演会

「郷土の先人 野村洋三を知ろう」と題して、毎年総会時に、洋三が生まれた大野町で講演会を行っています。



於 大野町総合市民センター

情報発信

- 会報の発行（年1～2回程度／不定期）
- 野村洋三伝DVD「太平洋の架け橋 野村洋三翁物語」による、人物顕彰を通じたふるさと教育

ゆかりの地を訪ねるスタディーツアー



- 第1弾 | 2016年11月28日(月)～29日(火)
横浜との交流の旅 ～ 横浜三溪園特別参観と文化
- 第2弾 | 2017年11月26日(日)～27日(月)
北鎌倉・箱根巡り～ 東慶寺・松ヶ岡文庫特別参観と講演会
- 第3弾 | 2018年12月17日(月)～18日(火)
三溪・洋三・大拙・紹欽・有的ゆかりの地を巡る